

2025 年 6 月 12 日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ、 ワースペースと宇宙サイバーセキュリティ分野で業務提携 ～宇宙デジタルツインを用いたサイバー攻撃対策技術を共同研究～

GMO インターネットグループでサイバー攻撃対策事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）は、株式会社ワースペース（代表取締役 CEO：東 宏充 以下、ワースペース）と 2025 年 5 月 20 日に業務提携契約を締結し、2025 年 6 月 12 日に業務提携を発表しました。

本業務提携により、ワースペースが有する「宇宙デジタルツイン技術^(※1)」と、GMO サイバーセキュリティ by イエラエが長年培ってきたサイバーセキュリティの高度な専門知識を融合させ、宇宙衛星システムにおけるセキュアな開発・運用プラットフォームの実現に向けて共同研究を推進してまいります。



GMO CYBER SECURITY
IERAE



（※1）人工衛星群が宇宙空間でどのように連携しデータの中継していくかを、現実世界と同じようにデジタル空間に再現する最先端技術

【本業務提携の目的と要旨】

GMO サイバーセキュリティ by イエラエとワースペースは、宇宙領域におけるサイバーセキュリティの確立と、その持続的な利活用を目的に業務提携を締結しました。ワースペースの高度な宇宙デジタルツイン技術と、GMO サイバーセキュリティ by イエラエの豊富なセキュリティ知見を融合し、宇宙システム全体を包括的に支援する次世代型の開発・運用プラットフォームの共同研究を進めます。

本プラットフォームは、多数の人工衛星を連携させて運用する衛星コンステレーションなどの宇宙システムを仮想空間上に精緻に再現します。GMO サイバーセキュリティ by イエラエが特に注力するのは、宇宙

システムに携わる技術者のサイバーセキュリティ教育や、サイバー攻撃が発生した際にその影響を最小限に抑え、迅速に復旧させるための訓練「インシデントレスポンス訓練」の実現です。

宇宙デジタルツイン技術を用いることでデジタル空間上に仮想的な宇宙システム環境を構築します。これにより宇宙システムの開発者・運用者は実機に影響を与えることなく、繰り返しインシデントレスポンス訓練が実施できるようになるため、複雑で高度なサイバー攻撃やシステム障害への対応力を高めることが可能になります。

【宇宙デジタルツイン技術を活用しセキュアな宇宙システムの開発と運用を支援】

本プラットフォームを活用することで、宇宙システムの開発者は、開発初期段階からサイバー攻撃の脅威やその影響を意識し、セキュリティ対策を取り入れることが可能になります。設計予定の宇宙システムをデジタル環境上に再現することで、サイバー攻撃に対する耐性を実証的に評価できます。これにより、宇宙産業の開発現場においても、セキュアバイデザインの考え方が浸透し、宇宙産業全体のセキュリティレベル向上に貢献できます。この取り組みを通じて宇宙開発の全フェーズにおけるセキュリティレベルの向上を図り、宇宙産業におけるサイバーセキュリティの新たなスタンダードを構築していきます。

【株式会社ワープスペース 代表取締役 CEO 東 宏充氏のコメント】

サイバーセキュリティ業界において、世界的にもトップレベルの技術を保有するイエラエ社と協同することで、これからの宇宙産業における安全安心を創り上げることが出来ることを確信しております。宇宙はサイバーと同様のボーダーレス空間であり、世界のあらゆる力が直接激突する極めて厳しい環境です。この宇宙もサイバー同様、社会実装に向けた段階を迎え、さらなる競争や衝突が生まれることが容易に想像できます。ワープスペースはこの業務提携を通じて、この重要且つ深刻な課題を解決するソリューションの提供に向けて尽力いたします。



【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ 取締役 CGO 林 彦博のコメント】

宇宙デジタルツインの最先端技術を持つワープスペース社との提携に大きな可能性を感じています。我々のサイバーセキュリティの専門知識を活かし、宇宙システム特有のセキュリティリスクに対応できるソリューションを共創することで、宇宙空間の安全安心な利活用に貢献できることを大変嬉しく思います。



【株式会社ワープスペースについて】(<https://warpspace.jp>)

ワープスペースは、宇宙空間で増えていく地球観測や探査における通信ニーズを支えるために、日本が誇る光通信技術を軸としたソリューション開発や技術支援を行っています。人工衛星を打ち上げる事業者は世界で数百社以上と増え続けており、宇宙での活動を増やす国・地域も増え続けています。しかし、従来の通

信方法だけでは限界が見えてきています。私たちはこの課題に対して、光通信の導入を容易にするマルチプロトコル光モデム、衛星間や地上宇宙間で光中継をデジタルプラットフォーム上で実証するデジタルツインソリューションなどハードウェアとソフトウェアの開発を行っており、最終的には光通信による高速データ中継サービスの提供を目指しています。

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】

(<https://gmo-cybersecurity.com/>)

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカーで組織されたサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、「世界一のホワイトハッカーの技術力を身近に」を目指して、各種脆弱性診断、ペネトレーションテスト、セキュリティコンサルタント、SOC サービス、フォレンジック調査まで包括的にサイバーセキュリティ対策サービスをご提供します。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

マーケティング部 広報担当 伊礼

TEL : 03-6276-6045

E-mail : pr@gmo-cybersecurity.com

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】(URL : <https://gmo-cybersecurity.com/>)

会 社 名	GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 CEO 牧田 誠
事 業 内 容	■ Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ ペネトレーションテスト ■ 不正利用(チート)診断 ■ IoT 脆弱性診断 ■ 自動車脆弱性診断 ■ フォレンジック調査 ■ CSIRT 支援 ■ クラウドセキュリティ診断 ■ クラウドセキュリティ・アドバイザー
資 本 金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社(グループ経営機能)

	■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Cybersecurity by Ierae, Inc. All Rights Reserved.